

こんにちは 議会です!!



心をひとつに



大滝小学校運動会

- 28年度決算 を審査 …………… 2
- 決算委員会 …………… 4
- 9月定例議会 …………… 6
- 補正予算 …………… 7
- 委員会審査 …………… 10
- 子ども議会 …………… 12
- 町政を問う(一般質問)…………… 15
- まち・ひと・しごと!! …… 20

歳出

決算額 47億8234万円

約3.6億円の増加
(前年度比)

地方創生事業(林業、観光)
絵馬通り線の整備で増加

防災・行政事務・その他

8億4824万円

- 総務費 …… 6億5744万円
- 消防費 …… 1億9080万円

将来への積立て

2億8305万円

- 中央公民館建設 …… 1億2862万円
- 社会福祉基金 …… 5000万円
- 財政調整基金 …… 1億101万円
- その他 …… 342万円

地方債の返済

4億1204万円
(元金・利子)

まちづくり

11億9499万円

- 土木費 …… 6億5746万円
- 農林水産業費 …… 2億5926万円
- 環境衛生費 …… 1億5472万円
- 商工費 …… 5235万円
- 議会費 …… 7120万円



安全な通行を維持

教育・生涯学習 (学校教育など)

7億4828万円

- 幼稚園 …… 5854万円
- 小中学校 …… 2億4803万円
- 生涯学習 …… 3億5980万円
- 事務費 …… 8191万円



文化財の茅葺屋根補修

健康づくり・福祉

(子育て、障害福祉など)

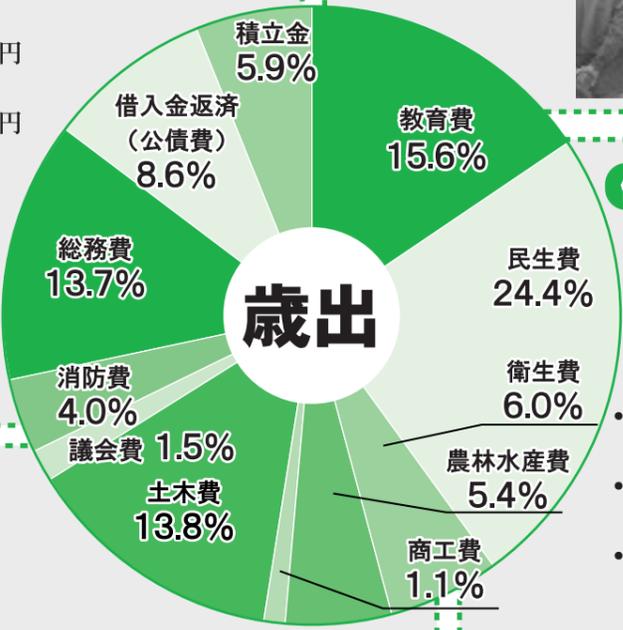
12億5206万円

- 児童福祉 …… 4億6821万円
- 社会福祉 …… 6億9649万円
- 保健衛生 …… 8736万円



地域の福祉の拠点に

ファミリーステーション多賀



歳出

基金 (積立て)
(主なもの)

区分	積立て額(は使った額)	現在高
一般会計		
中央公民館建設基金	4961万円	8億2125万円
財政調整基金	1億101万円	9億7761万円
特別会計		
国民健康保険基金	9万円	0.1万円
育英事業基金	260万円	5502万円
基金合計	27億3426万円(町民1人あたり36万円)	

歳入

決算額 49億9870万円

約2.8億円の増加
(前年度比)

企業の法人住民税が増収 公共事業の減少で交付金が減少
軽自動車税、たばこ税は増収

借入れ金 (地方債の新規発行)

4億1314万円

- 臨時財政対策債 …… 2億444万円
- 一般事業 …… 9070万円
- 施設整備事業 …… 560万円
- 公共事業 …… 1億1240万円

町税

19億7299万円

- 住民税(個人)(法人) …… 7億4083万円
- 固定資産税 …… 11億5714万円
- 軽自動車税 …… 2659万円
- たばこ税 …… 4690万円
- 鉱産税 …… 153万円

地方交付税

市町村の均衡をはかるための交付金

9億2411万円

国庫支出金

国が使用目的を特定した交付金

4億5129万円

県支出金

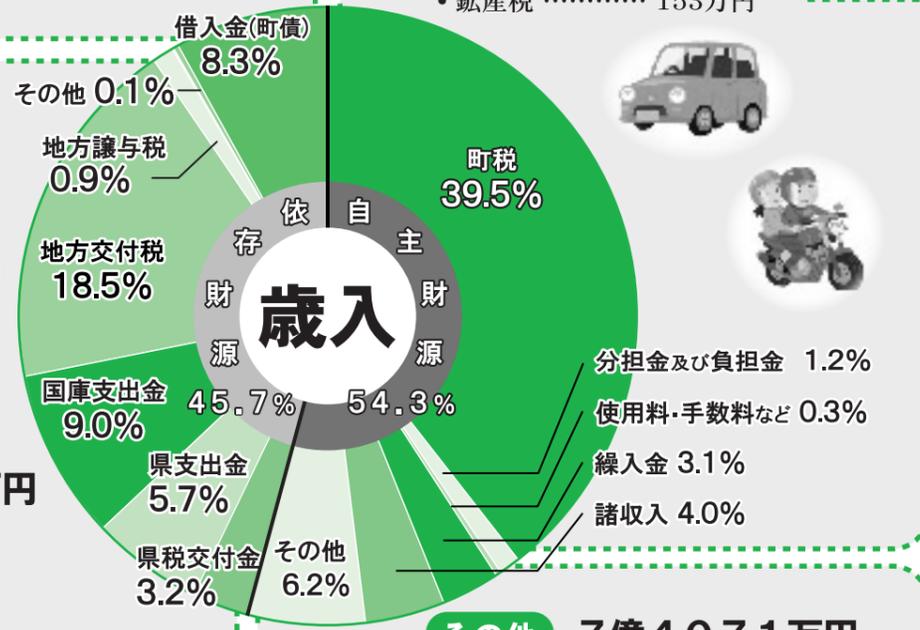
県が使用目的を特定した交付金

2億8603万円

県税交付金

地方消費税交付金など

1億6105万円



その他 7億4071万円

- 前年度からの繰越金 …… 2億9731万円
- 他会計からの繰入金 …… 1億5402万円
- 諸収入 …… 1億9954万円
- 分担金・負担金 …… 6237万円
- 使用料・手数料 …… 1737万円
- 財産収入 …… 495万円
- 寄付金 …… 515万円



- 分担金及び負担金 1.2%
- 使用料・手数料など 0.3%
- 繰入金 3.1%
- 諸収入 4.0%

区分	一般会計の事業	特別会計の事業(上下水道)
前年度残高	51億6533万円	63億6866万円
新借り入れ	4億1314万円	2億5070万円
返済	3億6075万円	2億7833万円
現在高	52億1772万円	63億4103万円
合計	115億5875万円(町民1人あたり152万円)	

地方債 (借入れ)

決算特別委員会

28年度一般会計決算の審査をし、全て認定した。

行政事務・防災

(総務費・消防費)

おもな決算項目	(万円)
まちづくり活動支援交付金	1975
各区自治振興交付金	2503
若者定住支援交付金	524
6町行政システム費用	4574
マイナンバー制度整備費用	2956
広報誌・HP関係費	583
有線放送補助金	250
コミュニティバス	3825
愛のりタクシー	1883
消防本部委託金	9877
大滝消防センター整備経費	2927
水槽付消防ポンプ車(大滝)	2374
町税過年度還付金	1098
参議院選挙費	806

問 コンビニ収納、2年目の実績は
答 一般収納で3323件、上下水道関係729件合計4052件。基本料は64800円。手数料は1件58円である。

問 スマートインターの状況は
答 地元・関係団体と協議を重ねている。



問 防災備品の備蓄は
答 毛布、2550枚を拠点避難場所に、備蓄用パンは、大岡備蓄センターに保管している。

問 マイナンバーカードの発行枚数は
答 28年度末で118枚、29年8月で421枚。率にして5.5%で徐々に延びている。

問 町債の増加は
答 中学校体育館耐震、川相の大滝消防センターの改修などで増加。

9/7

9/8

福祉・健康づくり

(民生費・衛生費)

おもな決算項目	(万円)
社会福祉協議会補助金	3343
国民健康保険繰出金	6020
介護保険繰出金	1億1751
後期高齢者医療繰出金	2886
臨時福祉給付金	331
年金生活者支援臨時給付金	2535
介護給付費	1億2645
福祉医療扶助費	6360
放課後児童クラブ費	1207
各種がん検診・予防接種委託料	3507
ふれあいの郷維持費	2121
塵芥処理費	9939
し尿処理費	3237

問 福祉医療対象者の内訳は
答 乳幼児376人、子育て応援医療574人、重度心身障害者90人、65歳から74歳までの老人129人、母子・父子家庭、精神障害者など322人、合計1491人が対象。

問 介護保険の要支援1・2の該当者は、どの様に移行されたのか、また「社会福祉協議会」との連携は
答 要支援1・2の該当者は「総合事業」として28年度から社会福祉協議会へ訪問型・通所型事業をお願いしている。



問 塵芥処理、燃やすごみと燃やさないごみは
答 燃やすごみ1546t(60t増)、燃やさないごみは142t(40t減)。粗大ごみで大きく左右される。

問 一人暮らしの見守り、生活困窮者の支援など地域福祉活動に特化した活動をお願いし、補助金も増額している。

まちづくり

(農林水産業費・土木費 商工費・観光費)

おもな決算項目	(万円)
環境保全型農業補助金	1373
農村まるごと補助金	1653
農業集落排水事業繰出金	4767
下水道事業繰出金	1億2958
鳥獣害防止集落・個人補助金	544
有害鳥獣駆除委託料	1376
がんばる商店補助金	1039
除雪委託料	3160
洪水ハザードマップ作成委託料	637
芹谷栗栖地域振興繰出金	1042
ダム関連整備事業費	8447
スマートIC実施計画策定委託料	346
絵馬通り改修費	1億4627
ライトアップ事業	2894

問 地方創生加速化交付金の使途の内訳は
答 5416万円の内、企画課・教育委員会費は1845万円。産業環境課はライトアップ事業に2694万円、地獄めぐり280万円、まちづくり事業補助金597万円。大滝神社のライトアップは、自治振興交付金200万円で賄った。



問 地籍調査済みの集落と業者名は
答 業者は、南海測量設計・滋賀営業所(本社愛媛県)である。集落名は富之尾、水谷である。

問 集落への獣害対策補助金は、フェンスの長さで決まるのか
答 事業割りは、上限15万円とプラス長さ割、1mあたり60円である。

問 月之木グリーンヒルの進捗は
答 29年度完成予定。

教育・生涯教育

(学校教育費・社会教育費)

おもな決算項目	(万円)
保育所費	2億8820
幼稚園費	5854
小学校費	1億3656
中学校費	1億1147
公民館費	1258
新公民館費(建築材・設計料ほか)	9134
文化財保護費	6037
海洋センター費	5005
スポーツ公園費	723
町民グランド管理費	668
あけぼのパーク管理費	3302
図書館管理費	4463
博物館管理費	1799

問 小学校で外国語教育が始まるが、実施内容
答 32年度から始まる。5・6年生は週2時間、3・4年生は、週1時間である。

問 現在、5・6年生は週1回、3・4年生は年間10時間、1・2年生は年間5時間実施している。
答 委託先は、インタラクティブ浜松支店。



問 就学援助費支給対象児童、生徒の数と制度の周知は
答 小学生は31人、中学生は32人。毎年4月にすべての児童、生徒に学校からチラシを配布周知。

問 公共施設の老朽化が問題になっている。
答 海洋センター体育館の屋根の修繕はBG財団に補助申請をしている。プールの上屋シートの助成を受けた所であり、難しい。

9月定例議会

9/5

9/28

私たちのまちの 財政状況は

28年度の決算を
審議・認定しました

一般会計

歳入決算

49億9870万円

歳出決算

47億8234万円

監査委員の報告

- 収支は2億839万円の黒字。
- 税収入は増収となったが、消費的行政経費も増額となった。
- 町税の収納率は、県内高位である。
- 自主財源は約54%で前年度比は微増
- 経常経費の節減に努め執行されている。
- 地方債残高が上昇し、慎重な対応が必要。
- 健全化判断比率は良好で、健全財政は維持されている。

代表監査委員
寺西 久和

特別会計

- 国民健康保険特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 後期高齢者医療事業特別会計
- 育英事業特別会計
- 多賀財産区管理会特別会計
- 大滝財産区管理会特別会計
- 霊仙財産区管理会特別会計
- 下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理特別会計
- 水道事業会計

教育委員に
再任されました
土田 勝一氏
(土田)

補正予算を審議・可決しました

一般会計(第3号)

82万円(減)

国民健康保険

508万円(増)

介護保険事業

284万円(増)

下水道事業

594万円(増)

農業集落排水事業

745万円(増)

一般会計(第4号)

755万円(増)

条例が改正されました

消防センターの設置および管理に関する条例

大滝消防センターの追加

地域を守る消防施設



大滝消防センター

町長、副町長の
給与の減額

意見書を国へ
提出します

「全国森林環境税」の
創設に関する意見書



予算特別委員会

9/14

29年度補正予算を審査しました

おもな内訳 (万円)	
スマートインター再調査	176
河内風穴歩道整備	440
橋の長寿命化測量設計	1130
除雪による道路損傷箇所修繕	240
里道補修(入谷区)	124
がんばる商店応援補助	100
観光地づくり(文化財保護協会へ)	267
森林境界明確化(大杉・樋田)	280
町産木材利用住宅補助	300
木材供給可能性調査委託ほか	572
個人の畑向け獣害対策	50
粗大ごみ収集追加費用	222
敏満寺遺跡調査費(石仏谷)	200
あけぼのパーク電気設備工事	235
幼稚園臨時職員増員賃金	424
保健センター修繕費	158

河内風穴
歩道整備の内容は

風穴に通じる登坂歩道を整備する。事業費の3分の2を河内観光協会へ補助する。



観光客に優しい歩道を

木材供給可能性
調査の内容は

町産の木材がどうすれば売れるかを検討・調査する。委託先はトビムシ(岡山県西栗倉村)また、町産木材の含水率の調査を滋賀県立大学に委託する。

橋の長寿命化工事はどの橋か

大君ヶ畑の指月橋、芹谷の学校前橋である。測量設計をする。



長寿命化が待たれる橋
芹谷学校前橋

気軽に懇談 しませんか?

私たちは、議会活動の充実を図るため、各集落や各団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。お気軽にご連絡ください。

議会事務局
☎ 48-8126
(有線)2-2011



表紙写真募集!!

『議会広報たが』の表紙写真を募集いたします。

【募集内容・要件】

- 町内で撮影されたもの
- 未発表のオリジナル作品
- 被写体の肖像権・財産権・使用権の承諾が得られているもの
- 縦位置で撮影されたデジタル画像

【募集方法】

データの持ち込みまたはメールでご応募がございます。メール本文には、氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を記載ください。広報常任委員会に選考し、ご応募いただきましたお写真の返却はいたしませんので予めご了承ください。詳細はHPにも案内しております。

町長の行政報告

請負契約を締結しました

目的

電気料金の削減と非常時における電源確保

内容

あけぼのパーク多賀太陽光発電設備等設置・LED照明器具更新工事

金額

1億1890万8千円

請負者

株式会社 ノセヨ 代表取締役 野瀬 隆之



平成28年度一般会計決算の概要と主要施策の実施概要について

歳入決算額は、49億9870万円、歳出決算額は、47億8234万円。繰越事業に充てる財源797万円を除いた実質収支は2億839万円となった。

財政収支の均衡、歳出削減努力により財政健全を堅持できた。中央公民館建設事業は利用者等の現場の声を生かす設計をしている。公債費の地方債残高は52億1772万円となった。

総務課所管

大滝消防センターは7月24日に完成。警察・消防署と連携し、犯罪・災害防止の拠点にしたい。

企画課所管

仮称多賀SAスマートインターチェンジ整備計画をゼロベースで見直し、実施可能な計画とするため、国・県など関係機関と調整・協議をしている。

福祉保健課所管

地域密着型の小規模多機能型居宅介護ファミリーステーション多賀が開設された。

産業環境課所管

ダイニックアストロパーク天究館とタイアップし星空・自然観察会を実施し、好評を得ている。農業委員会法の改正により、14人の新農業委員を任命した。地方創生推進交付金事業は2年目を迎え、更なる

地域整備課所管

町道絵馬通り線は第3工区を実施。引き続き工事を進める。地籍調査は、河内地区を平成30年度完了予定。来年度以降も順次現地調査をする予定。

教育委員会所管

大滝たきのみやこども園にするための増改築工事に着手。放課後児童クラブでは夏休み期間中も約90人の利用があり、「よさこいソーラン」「よし笛コンサート」「お琴の音色」の行事などを実施。

子ども議会を開催し、町政や議会の仕組みを理解してもらうため、毎年実施。青少年育成町民会議との共同事業で朝のあいさつ運動を実施しました。あけぼのパーク多賀では、9月末まで空調工事とLED化工事を進めている。



行政視察研修

総務常任委員会

7月13日 三朝町

子育て支援施策を視察

この事業は、妊娠・出産・子育て・教育支援まで、切れ目のない子育て支援事業である。

三朝ネウボラ事業

ネウボラとは、フィンランド語で、アドバイスする場所を意味し、保健センターのような子育て支援拠点を意味します。

三朝町でも出生率の低下で人口減少問題が大きな課題である。その対策として、フィンランドの事例を参考に、妊娠・出産・子育て・教育支援や相談がワンストップ拠点で済むように取り組んできた。



子育て世代包括センターを開設し、相談体制の整備、支援体制を進めた。

また、多様化する子育てに対応するため、「すこやか乳幼児家庭保育応援事業」なる補助金支給制度も実施、支援している。

村に赤ちゃんがやってきた事業

「世代を超えた交流」地域の子どもは地域で育てる、「地域と子育て世代のどちらも元気になる」という目的として、「子どものいない集落へ子育て中の親子が訪問する事業を展開し、効果を上げている。」

7/13 7/14

産業建設常任委員会

7月13日 三朝町

まちの魅力を活かした観光振興について

三朝町には、世界一のラジウム温泉と国宝・日本遺産の三徳山投入堂があり、5月に「三朝花湯祭り」、8月に「キュリ祭り」、10月に「三徳山炎の祭典」と大きなイベントを開催されている。



昭和59年建設の美術館を25年5月に指定管理者制度で「三朝バイオリン美術館」としてリニューアル

行政視察研修

7月14日 智頭町

林業政策について

アルオープン。プロの弦楽器制作家や演奏家が運営を始めた新しい形の美術館である。作品の展示や製作体験・演奏会で観光客を魅了している。

杉のまち、智頭林業は吉野・北山に並ぶ全国的に高い評価を受けている。町の基幹産業として、森林所有者・森林組合・林業団体・行政が一丸となっており、担い手育成「山人塾」を鳥取大学と連携し行なっている。搬出間伐・自伐型林業家・車両系林業機械補助金などに支援をおこなっている。

森林境界明確化事業は、「地籍調査課」で1億9900万円の予算で取り組んでいる。

町産材住宅建築補助金制度や誕生記念品に木製積み木やブロックを贈呈

地域整備課所管

町道絵馬通り線は第3工区を実施。引き続き工事を進める。地籍調査は、河内地区を平成30年度完了予定。来年度以降も順次現地調査をする予定。

教育委員会所管

大滝たきのみやこども園にするための増改築工事に着手。放課後児童クラブでは夏休み期間中も約90人の利用があり、「よさこいソーラン」「よし笛コンサート」「お琴の音色」の行事などを実施。



農業政策 米のブランド化

智頭のうまい米 1決定戦の開催。鳥取農業試験場と鳥取東部農林事務所八頭農業改良普及所の協力のもと食味測定器で、お米（玄米）のおいしさを示す食味値で順位を決定。智頭が有する恵まれた自然環境と農家のうまい米を食べてほしいという温かい想いと「あいつには負けたくない」という農家同士の熱きプライドの、しのぎ合いの栽培技術が智頭米の旨さと品質を上げている。

近年、「自然農法」も取り組んでいる。

廃園の園舎活用

智頭町においても人口減少・少子化で、保育園小学校など空き公有施設が10カ所もある。活用を地域協議会から提案して頂いている。

現在、元保育園舎に、自然酵母のパン工房や地ビール工房ができ、観光の目玉となりつつある。また、元小学校舎には「コールセンター」が入居予定である。

交付金減額が進む中、公共施設の指定管理者制度の取り組みや遊休公共施設の活用方法また、地方創生交付金事業、林業施策について、大いに参考になった。



安全・安心のまちづくり



産業建設常任委員会

9/13

4事業の決算を審査しました

下水道事業

問 起債の繰上償還は平準化債であり、まとめて返せない。利率の高いものの償還などを検討したい。

答 下水道事業も水道事業と同じく法整備の話があるがいつからか30年度に委託料を計上し、32年度から実施したい。

問 下水道事業も水道事業と同じく法整備の話があるがいつからか30年度に委託料を計上し、32年度から実施したい。

農業集落排水事業

問 処理場の定期点検委託料、業者と項目は(有)キタセイで処理場の建物全体、処理槽、ポンプなど週1回の点検を委託している。

答 使用されている軒数は減る方向であるが対策は

問 処理場の縮小、浄化槽施策も考える必要がある。下水道事業と同様に再生計画で考える。



排水処理場

芹谷栗栖地域振興事業

問 地域おこし協力隊の事業は終わるか

答 28年度で3年間の事業は終わった、現在も2人は、水谷に住んでいる。1人は多賀でそば店を開業している。前例ができた。

問 むらづくり委託料の支払先と用途は

答 「むらづくり懇話会」に支給。水谷の活性化事業に取り組んでいる団体で、ふるさと楽市などの活動費である。

要望

・最終決算で、今後は河内線の道路改良を要望



河内の道路拡張工事現場

水道事業会計

問 水道加入金が予算の4倍だが

答 住宅開発で増加している、神田団地の加入が大きい、業者が一括入金された。



開発された神田団地

問 水道の使用量は節水器具の増加や企業の節水傾向により、減少状況にある。

答 施設の除却計画は多くある。一度に除却できないので、適宜予算化して取り組みたい。

問 施設の除却計画は多くある。一度に除却できないので、適宜予算化して取り組みたい。

区分	歳入	歳出	事業内容
下水道事業	5億1281	4億4957	維持管理・新規接続
農業集落排水事業	5755	5109	2カ所浄化施設管理
芹谷栗栖振興事業	8317	8317	地域振興・最終事業
工業団地公共緑地維持管理	511	461	びわ湖東部工業団地内草木整備
水道事業(収益的事業)	3億5104	3億2815	水道使用料関係
水道事業(資本的事業)	1億9009	3億2191	施設整備ほか

(単位: 万円)

住民の健康増進を



いきいき教室

総務常任委員会

9/12

(単位: 万円)

事業の決算	歳入	歳出	事業内容
国民健康保険	10億627	9億8151	保険給付費(医療費)、保険事業
介護保険事業	7億9085	7億8437	介護サービス費、地域支援事業
後期高齢者医療事業	9549	9338	広域連合への納付金
育英事業	275	267	奨学金、運営委員会経費

国民健康保険

問 医療費増加の原因は65歳以上の医療費が増加した。また加入者の平均年齢が高くなった。

答 疾患別の医療費は1位はがん。2位は骨筋の疾患。3位は精神疾患である。

問 30年度から財政運営が県へ移管するが、財政の状況は

答 広域化により、一般会計からの法定外繰入れの段階的な削減を図るなど国保の財政上の問題を解消する。

介護保険事業

問 「総合事業」とは

答 要支援1・2の認定者に対し市町村が実施訪問や通所での生活支援サービス事業と、介護予防事業がある。

問 総合事業1年目の評価は

答 現状では目標は達成できていない。地域での受け皿や自主的な活動を増やす必要がある。

後期高齢者医療事業

問 加入者数は

答 1321人。

問 保険料の納付状況は

答 年金天引きが1111人、口座振替が170人、窓口納付が40人。

育英事業

問 支給の判定基準は

答 生活状況証明書の提出を求め、委員会で慎重に審査している。31人の申請に対し、19人の支給認定となった。

問 事業の今後は

答 27年度から支給月額を3割減額している。基金の状況から、今後20年は事業を維持できる。

29年度の補正予算を審査しました

国民健康保険
508万円増

介護保険事業
284万円増

問 どのような事業か

答 住民の健康づくりを目的に、食事と運動についてのアイデアを募集。食事では、減塩を意識したレシピ(調理法)を募集。運動では、ウォーキングコースを募集する。

問 審査と表彰は

答 健康づくり推進協議会長、管理栄養士などが審査し、2次審査では実際に調理してもらう。



短期集中脳力アップ教室

問 運営協議会の開催費用が計上されたが、協議内容は

答 来年度以降の保険料を協議。

問 保険料の算定方法は

答 介護給付費の総額をもとに算定される。前回の保険料(65歳以上)は介護給付費総額の22%であった。

要望

・所得の少ない方や、年金生活者は保険料を払うことが負担になる。十分に考慮してほしい。

まちづくりを問う

質問事項	ページ
橋 楓真 13 空き家対策と人口減少問題は	13
澤井 楓花 13 自然災害を防ぐには	13
村田 葵 13 多賀産木材の活用は	13
丸尾 文昭 13 多賀町のICT教育の計画は	13
安村 虹輝 13 多賀町に大型店舗の誘致を	13
喜多 綾香 13 高齢者への福祉対策は	13
村田 華 14 安全・安心なまちづくりを	14
橋本 将 14 町外に文化・体育施設のPRを	14
西澤 ひなた 14 大滝地域の人口減少対策は	14
中西 宗貴 14 環境保護と林業振興への取組は	14
小財 志穂 14 積雪時の対応は	14
小林 隼汰 14 小・中学生への教育援助は	14



大滝小6年 橋 楓真

質問 空き家対策と人口減少問題は

問 大滝は子どもが減り、空き家も増え、心配です。空き家を利用し、人が集まる場所を作ればどうか。町として、今後の萱原の人口減少対策や空き家利用について聞きます。

企画課長
答 萱原の人口は、10年間で102人減少している。空き家は、現在27戸で全体の20%を占める。多賀町の空き家対策として、空き家情報バンクを平成27年5月に設立し、空き家の購入や改築に補助金を出し、子育て支援の充実や若い方が住んでいたがややすい環境を整え、さまざまな方向から人口が増えるよう進めています。



多賀中3年 橋 楓花

質問 自然災害を防ぐには

問 多賀町は、大きな自然災害もなく、安心して生活ができます。しかし、今までに経験したことのない災害が予想されます。町は、災害の予想と予防策をどう考えるのか。

総務課長
答 多賀町は、85%を山林に囲まれ、3本の谷の川沿いに集落が点在している。住民の生命・財産を保護するため、「多賀町地域防災計画」を策定し、「災害予防・災害応急対策・災害復旧・他必要な災害対策の4本柱を基本方針と定め、想定される災害に備える目的で、「多賀町総合防災マップ」を配布しました。



多賀中2年 村田 葵

質問 多賀産木材の活用は

問 私達の学校の机・イスが多賀材を使用していると聞いています。多賀材の活用で、地域の活性化につながればと思う。実際に多賀材を使った地域活性化の具体例は

産業環境課長
答 今までに多賀材を使った建物は、大滝小の体育館、多賀中のランチルーム、高取の宿泊施設、建設予定の新中央公民館など多くの公共施設へ多賀材を使ってきました。他に、多賀材を使った住宅への補助としては、今年度より30万円の補助が100万円に増額し、県の補助を合わせ、最高180万円となりました。



多賀小5年 丸尾 文昭

質問 多賀町のICT教育の計画は

問 学校での情報教育を進め、ぼくたちがパソコンやタブレット端末を自由に使いこなせるような技術を身につけるために、町は、どんなことを計画してもらえますか。

学校教育課長
答 夏休みに小学校のPC室のパソコンをタブレット型端末に更新します。これにより、各教室でタブレットを使用することが可能になり、ICT機器に触れる機会が増えます。先生方には、使い方や活用の仕方を研究してもらいます。専門の指導をしてもらえるICTサポーターの方も学校を回っていただきます。



多賀小6年 安村 虹輝

質問 多賀町に大型店舗の誘致を

問 多賀町にはスーパーマーケットなどの店がなく、彦根のお店に行きます。町内にスーパーマーケットがあれば便利です。多賀町に、大型店舗誘致の考えはありますか。

企画課長
答 大型店舗の誘致は、車で10〜30分の近隣に店舗があり、利用客が少なく採算が取れず難しい。
町長
答 全然計画が無いわけでは無く、2、3年間協議をしています。収益面で問題はあるが、若い世代が増え、条件が整えば可能になります。皆さんが、多賀に住んでいたことで、多賀の活性化につながります。



大滝小6年 喜多 綾香

質問 高齢者への福祉対策は

問 大滝地区は、人口が減少し、子どもの数も減り、お店も1軒しかなくお年寄りにとつてますます不便になります。これからの大滝が生活しやすい対策はありますか。

福祉保健課長
答 現在、大滝地区では高齢化率が、39%となり町内でも高齢化率が高い。町は、高齢化世帯の見守りやひきこもり対策の実施。交通手段、移動手段の確保。介護サービスの充実などを図り、高齢化社会に向けて、皆さんが安心して暮らせる取り組みを続けて行きます。

川添 武史 16

障害者・要介護支援者に「避難者カード」を本町の農林業施策は
地方交付税の確定による、本町への影響は

松居 亘 16

ため池の安全対策は
超高齢化社会 2025年問題は

富永 勉 17

高取山へのアクセス道路整備は
大滝神社の価値を活かした観光を

尾谷 忠之 17

台風による地域防災計画とその実践は
トライアングル構想の実現に向けたビジョンは

山口 久男 18

三和シャッター未用地の交渉は
高校生の通学・高齢者外出支援の充実を
介護保険料の負担軽減を

竹内 薫 18

新中央公民館の進捗状況は
高齢者社会への今後の対応は

木下 茂樹 19

事業所ゴミの指導と対策は
公共団体からの資源回収は
直接搬入施設の構想は

北川 久二 19

野鳥の森にある湿地帯の整備計画は
獣害防止策の現状と対策は

(○印は、掲載していません。)

9月定例議会

町政を問う

8人が一般質問

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもち、町長や教育長などの方針を問うものです。



大滝小5年 村田 華

質問 安全・安心なまちづくりを

問 大滝には、歩行者用の信号がない交差点や車が対向できない道がある。多賀町は、私たちが安心して住めるような町になるよう、どのような計画をされていますか。

副町長 **答** 通学路の安全対策は、危険箇所を確認し、「多賀町通学路交通安全プログラム」という計画のもと、対策箇所を公表し、順次、安全対策工事を実施しています。



多賀中1年 将 橋本

質問 町外に文化・体育施設のPRを

問 多賀町は自然に恵まれ、文化・体育施設など充実していますが、町外にPRしていますか。また、人口を増やすためにどのような政策を考えていますか。

生涯学習課長 **答** 充実した文化・体育施設で教室や大会を計画し、高齢者をはじめ、多くの方に利用いただくことで、いつまでも健康で過ごせる環境づくりに努め、あわせて健康多賀を町内外にPRしてまいります。



多賀中1年 西澤ひなた

質問 大滝地域の人口減少対策は

問 人口が減少していることで、小学校がなくなったり、大滝に住む人がいなくなるかもしれませぬ。人口の減少を止めるために、どんなことを考えていますか。

町長 **答** 大滝の人口は、この10年で約20%減少している。人口の減少を止めるために、28年度より、「大滝活性化のためのプロジェクト」で空き家の活用などの取組を進めてきました。県立大学と連携し、地域の良さを発見したり、特色ある、大滝でしかできない学校を、先生や地域とともに、ぜひともつくっていききたい。



多賀小6年 宗貴 中而

質問 環境保護と林業振興への取組は

問 緑豊かな美しい多賀の山を未来に残すために、どんな取組をしていますか。また、環境保護や山の仕事を増やす林業振興には、どんな取組をしていますか。

産業環境課長 **答** 森林の循環は、苗を植え、下刈りを行い、木起こし、枝打ち、間伐を行い良い木材をつくるため手入れを行う必要があります。これに、国・県に加え、町独自の補助金を出しています。間伐材や伐採した木が、住宅・家具などに利用される。町産材を多く使ってもらうために、町内施設や町外への販売など、林業の活性化を目指している。



多賀中2年 小財 志穂

質問 積雪時の対応は

問 昨冬は、今までに経験したことのない大雪でした。大雪のため学校に來られない友だちもいました。このような時の対応はどのようにされるのか。

地域整備課長 **答** 今後、まずは除雪に対する必要性は増してくると思いますが、作業する人の減少や山間地の除雪や、高齢化などで道路だけではなく、屋根の雪おろしなどの対応もあり、役場だけで対応することが難しい。地域の助け合いや協働作業が必要。歩道の除雪は、できる範囲で登校に影響がないように行なう。



多賀中3年 隼汰 小林

質問 小・中学生への教育援助は

問 ICT機器や空調もあり素晴らしい環境で勉強しています。医療費の無料化やほかにも援助はありますか。一人あたりの義務教育費はいくらか。

教育長 **答** 新入生へのヘルメット・通学用カバンの支給、修学旅行の一部補助、通学バスの全額補助、経済的理由による費用の一部負担、臨時講師・学習支援員の費用、海外研修費、土曜講座事業など。

義務教育終了までに、一人あたり800万円、900万円かかる。感謝の気持ちを忘れず勉強や部活動などの学校生活を頑張ってください。

町政を問う

子ども議会

質問1

高取山へのアクセス道路整備は

—町長—

公園管理者「大滝山林組合」と協議の上進める

富永 勉



耐荷重化が待たれる



大滝橋

問 高取山ふれあい公園へのアクセス道路整備と「大滝橋」の長寿命化工事は

答 高取までの幅員拡張と待避所確保の予定は「重要度の高い箇所」は、特定しているのか

町長 「大滝橋」の長寿命化工事の内容と予定は

町長 滝ヶ原のほ場整備区間から300m先のカーブを拡張予定。今年度、道路の設計業務を行う。大型バスの運行がポイントで、公園管理者の意見を聞きながら5カ所を特定した。長寿命化に加え、大型バスの運行に耐える構造で、来年度、着工予定。

問 高取山ふれあい公園へのアクセス道路整備と「大滝橋」の長寿命化工事は

副町長 国からの交付額が2600万円減少したため、財源の不足分を補正予算とした。

質問2 大滝神社の価値を活かした観光を

町長 大滝神社は、水の神様であり、昨年は、水を基調とした色調で、今年もブルーを基調のライトアップを考えている。県指定の文化財であり評価も高い。費用の半分は、県が負担するが、残りは、所有者負担となる。所有者と協議していきたい。歴史文化基本構想では、町内全体の案内看板の検討をしている。大滝神社周辺に、容易にアクセスできる案内看板を、順次設置したい。

質問1

障害者・要介護支援者に「避難者カード」を

—町長—

災害時安否確認台帳で対応

川添 武史



災害時安否確認台帳

問 近年の大雨による災害で多くの尊い命が失われている。

町長 また、避難所内では、各地から駆けつけて頂いても、要支援者への適切な支援ができない。そのためにも、統一した「避難者カード」の作成が必要である。本町の取組は

町長 26年に「避難行動要支援者名簿システム」を導入したが、「個別支援プラン」の整備は不十分。現在は、安否確認台帳を活用している。

質問2 本町の農業施策は

町長 特産物奨励補助金の減額を生産者に周知しているのか

町長 山林担い手育成事業の実績は

町長 ペレットを利用した「バイオマス発電」が話題になっているが検討は

町長 周知しているが申請がない。

町長 山林の担い手として、他町から2名が大滝山林組合で研修されている。ペレット・バイオマス発電を今後検討する。

質問3 地方交付税の確定による本町への影響は

質問1

台風による地域防災計画とその実践は

—総務課長—

災害対策本部を設置し的確に行動

尾谷 忠之



迅速な対応を



問 台風5号対応の時系列経緯と被災状況は

総務課長 8月7日10時、大雨洪水暴風警報発令。13時、本町災害対策本部を設置。区長、自治会長等に連絡。町民に有線、メール、ホームページにて周知。19時40分、土砂災害警戒情報発表。22時45分、避難所開設の準備（開設に至らず）。翌1時15分、災害対策本部を解除。16時23分、警戒本部体制解除。被害状況は、道路、河川で土砂流出、冠水12カ所。林道路肩欠損10カ所。

問 実践における良かった点と改善点は

総務課長 良かった点は、指示通り行動ができたこと。改善点は避難所マニュアルの不明点等を見直す必要がある。消防団は役場待機。自警団は自主的なパトロール。職員・消防団員の巡回パトロールにより把握。災害時安否確認台帳により把握している。株式会社コ滋賀支店に委託する。今年度予算250万円で避難勧告等判断伝達マニュアル等を見直す。

質問1

ため池の安全対策は

—産業環境課長—

安全を順次確認していく

松居 亘



高宮池

問 本町における、ため池の数は

町長 町内で、豪雨により決壊しそうな池はあるか

産業環境課長 水難事故防止対策の周知方法は

町長 ため池の管理者に対する連携と指導は

町長 24年に把握調査をおこない、22カ所、確認している。

町長 現在確認中。ハザードマップが完成次第、関係者に周知したい。

町長 園、学校を通じ周知している。事故防止の施策を検討したい。

町長 今後、具体的案を検討し、連携、指導をする。

質問2 超高齢化社会2025年問題は

町長 2025年問題に対する町民への周知は

町長 地域包括ケアシステムの構築のための、施策は

町長 医療施設との連携は

町長 介護施設への対応は

町長 自己負担の見直しは

福祉保健課長 27年4月に、第6期高齢者福祉・介護保険事業計画を策定し、全戸配布した。第7期の配布を予定している。

町長 第6期計画に、7項目を挙げ取り組んでいる。湖東圏域の医療施設と連携している。

町長 県や介護保険事業者協議会などと相談しながら検討したい。

町長 高所得者については上がるが、健康寿命の延伸と介護予防により軽減になる。

質問1

事業所ゴミの指導と対策は

—産業環境課長—

分別と指定袋の使用を指導

木下 茂樹



問 家庭系化と紙類の資源回収への配慮を

答 産業環境課長
公共団体の資源ごみの回収は可能

質問2
公共団体からの資源回収は

問 収集で事業所の混入は聞いていないが、リパースセンターでは運搬業者に分別や指定袋の指導を行い、結果の報告を受けている。

答 産業環境課長
違反業者は法に従い、許可業者の1社を取り消し処分にした。現在の許可業者は9社。

問 事業所は「排出者が自己責任において処理する」が前提だが、「ゴミ置場」へ出されたり、分別・指定袋の未使用が見受けられるが状況は。違反者への対応は

問 削減のため、以前にあった「多賀町ごみ減量化・リサイクル推進協議会」で提案があった町内施設構想は

答 産業環境課長
「多賀町ごみ減量化・リサイクル推進協議会」の直接搬入、町内施設構想や、粗大ごみ有料化など、新処理施設の構想も含め検討していきたい。

質問3
直接搬入施設の構想は

問 彦根愛知犬上広域行政組合の新処理施設構想で、建設費、処理費の算定は排出量データから算出される。

答 産業環境課長
削減のため、以前にあった「多賀町ごみ減量化・リサイクル推進協議会」で提案があった町内施設構想は



粗大ごみ収集

質問1

三和シャッター未用地の交渉は

—企画課長—

根気よく交渉をおこなう

山口 久男



問 交渉の現状と今後の見通しは

答 企画課長
交渉は行なっている。当分の間、据え置くとのことである。早期の操業に向け要請していきたい。

質問2
高校生の通学・高齢者外出支援の充実に



三和シャッター用地

問 山間地の通学支援を主に、高齢者移動支援も考えて行く。

答 企画課長
各事業においては、自立支援に向けた取組に重点を置き実施している。課題は、居場所づくりの創出が大きな課題。

問 2割負担の人数と3割負担に上がる人数は

答 福祉保健課長
第1期は2700円、第6期は5500円となった。

問 アンケート調査の実施と計画に向け協議している。保険料の仮算定は、年明け後に予定。

答 福祉保健課長
県下の状況を確認し、考えた。

質問3
介護保険料の負担軽減を

問 第7期介護保険事業計画の取組と保険料は

答 福祉保健課長
国からの負担金の増額は総合事業の現状と課題は

質問1

野鳥の森にある湿地帯の整備計画は

—町長—

県へ粘り強く要望する

北川 久二



問 23〜28年度の個人向けの補助件数は

答 28年度末までの総駆除数は

質問2
獣害防止策の現状と対策は

問 ダム耐震改修工事の今後の予定と、整備計画について県から協議があったのか。

答 町長
荒れ放題の湿地帯は、草木が繁茂し、犯罪や、イノシシのすみかなど心配される

問 協議の結果、スピード感をもって対応したいという回答だが、今後も、粘り強く要望したい。

答 町長
被害は、大幅に減ったが、まだある。

問 防護柵設置後の農産物への被害は

答 産業環境課長
今後もシカの駆除計画をされるのか

質問2
高齡化社会への今後の対応は

問 介護予防・日常生活支援総合事業が始まり1年がたつ。その成果は元気で高齡生活を過ごすための取組は

答 福祉保健課長
4つの介護予防教室に加え、認知症予防に特化した教室を2つ増やし、生活援助サービスも1つ増やし、ほかに予防事業の教室も始めた。

問 地域ふれあい支え合い事業として、自主的に活動を進めていただき、支え合い、助け合う仕組みづくりの構築に、事業支援を行っている。

答 産業環境課長
補助は、138件

質問1

新中央公民館の進捗状況は

—企画課長—

平成31年3月完成予定

竹内 薫



問 進捗状況と完成予定は

答 企画課長
28年度末に実施設計が完了し、7月31日付で確認済証の交付を受けている。工事は30年2月に着工、同12月に完了。

質問2
生涯学習課長

問 検討委員会等で、運営、利用方法等を議論されたが、内容は

答 生涯学習課長
親しみやすい誰でも集える施設、コミュニティの拠点施設として、多賀ならではの魅力と誇りを再認識できるように、地域資源を生かした事業を行う。

問 地域ふれあい支え合い事業として、自主的に活動を進めていただき、支え合い、助け合う仕組みづくりの構築に、事業支援を行っている。

答 福祉保健課長
4つの介護予防教室に加え、認知症予防に特化した教室を2つ増やし、生活援助サービスも1つ増やし、ほかに予防事業の教室も始めた。



新中央公民館模型

問 シカの生息数と、サルが生息数と群れの数は

答 産業環境課長
シカ3441頭、イノシシ184頭、サル158頭。

質問2
高齡化社会への今後の対応は

問 介護予防・日常生活支援総合事業が始まり1年がたつ。その成果は元気で高齡生活を過ごすための取組は

答 福祉保健課長
4つの介護予防教室に加え、認知症予防に特化した教室を2つ増やし、生活援助サービスも1つ増やし、ほかに予防事業の教室も始めた。

問 地域ふれあい支え合い事業として、自主的に活動を進めていただき、支え合い、助け合う仕組みづくりの構築に、事業支援を行っている。

答 産業環境課長
補助は、138件

まち・ひと・しごと!!

第3回

多賀町商工会

どんな団体

多賀町商工会は、地域の事業者が業種に関わりなく会員となり組織された団体で、お互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行っています。

地方創生が叫ばれる昨今、当商工会としまして、地域の特色を活かした各種事業を推進しております。

ライトアップ

一つ目は、9月30日から11月30日まで開催される「近江多賀神あかり」事業です。この事業は、

多賀大社、胡宮神社、大瀧神社、高源寺を中心に、期間中ライトアップ等の演出を行い、賑やかな雰囲気をも多くのの人に楽しんでいただくこと、神あかり実行委員会が企画された事業で、この電気工事を本会建設技能部会が担当し、連日連夜の作業や打合



地域の皆さんと共に



多賀大社ライトアップ

せに加え、細かな光源調整等、苦勞もありましたが、多くの方々にお越しいただけることを励みに、地域の皆様やボランティアの方々と共に作業。

多賀そば

一つ目は、多賀そばの普及活動です。近畿でも有数の生産量を誇る多賀町産のそばについて、商工会内部に多賀そば地域協議会という組織を設置し、地域内でのそばの普及に取り組んでいます。

現在、町内で多賀そばを取り扱う蕎麦屋さんも6店舗に増え、地産地消の仕組みが少しずつ広がりはじめています。また、11月からは、そば打ち職人養成講座を開講し、新たな事業者の育成にも取り組んでいます。



そば畑

経済成長や少子高齢化といった諸課題に対し、地域独自の取組みによる解決が求められています。が、当商工会としましては今後とも、行政と一体となり、住民の皆様のご理解・ご協力を賜りながら、各種事業を進めて参りますので、よろしくお願ひします。

議会を傍聴してみませんか？ 12月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
12月5日	5日(火) 9:30~ 議案審議
12月20日 (16日間)	6日(水) 9:30~ 一般質問
	20日(水) 13:30~ 議案審議

日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126
(有線) 2-2011

まち・ひと・しごと!!

あなたのまわりの
自慢をお聞かせください。

原稿募集!!

- 【応募資格】多賀町に在住・在勤の方。
- 【応募方法】2000字程度
- 【募集期間】平成30年1月5日(金)



山頂で撮影(高室山)

編集後記

さわやかな秋晴れのもと、町内の各地で運動会や文化祭などの行事が開催されました。住民間のつながりの尊さや、協力の大事さを実感しました。

今回の議会では、町の決算を審議しました。昨年度の事業実績を審査して、新年度の予算編成にどう活かすのかを話し合いました。皆様からのご指摘やご意見をお待ちしております。
川岸 真喜 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

F 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131
有線 2-2011

ホームページ <http://www.town.taga.lg.jp/>